

令和6年度 ほっとけん！アワードエントリー行事

資料2

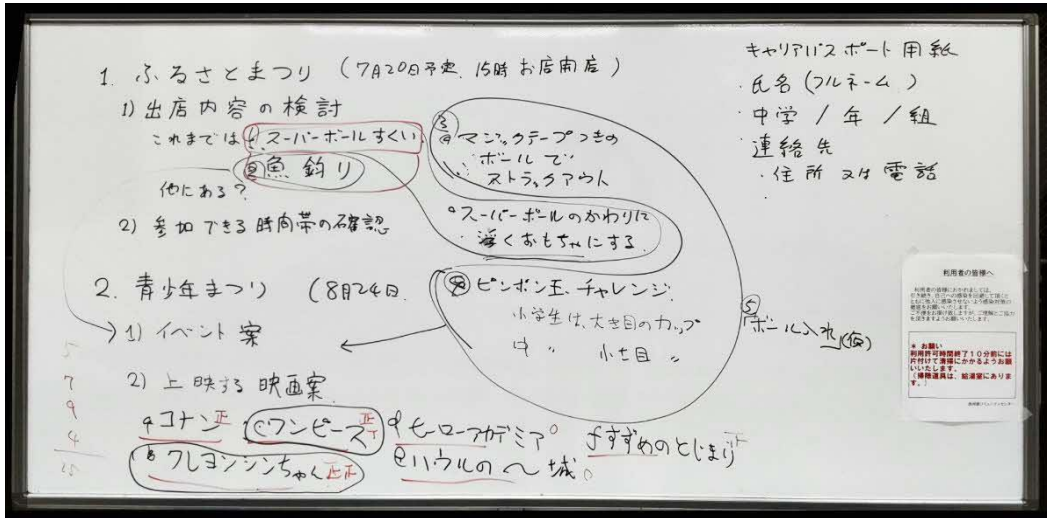
団体名	行事名（参加人数）	アピールポイント
西河原小学校区青少年健全育成運動協議会	青少年まつり (120人)	・企画段階から中学生に参加してもらい、アイデアを出してみること、地域に当行事をアピールするポスターを作ること、当日の店番を行い実際に運営することを担ってもらった。 ・大人は発言を促すための雰囲気づくりとファシリテーションに重点を置き、青少年に任せられる部分は任せようにした。 ・参加してくれた青少年には、キャリアパスポート用に参加証明書を発行している。
南中学校区青少年健全育成運動協議会	南中校区フェスタ2023 (2,000人)	・中学生にも企画段階から携わってもらい、アイデアを募り希望に応じた運営を行った。 ・様々な地域団体が舞台上で演奏等を行うが、生徒に司会進行をしてもらった。ステージや司会の担当、模擬店の手伝いに多くの生徒が協力してくれた。 ・SDGSと関連し、大阪産業大学から電気自動車を出していただき、生徒自身も楽しむことができた。
西陵中学校区青少年指導員会	放課後カフェ（レインボーカフェ） (月1回程度 91~291人)	・部活に加入していない生徒にとっての交流の場であり、部活に加入している生徒も別の部活の生徒と交流をすることができた。また、学年を跨いで先輩・後輩と話す機会にもなった。 ・教室に入りづらい生徒が通うステップルームへの出張カフェも行っている。 ・先生からは、放課後にて生徒の別の顔を見ることができるとい話を得ている。
天王小学校区こども会育成連絡協議会	天子連カーニバル (141人)	・こどもの意見を聞き、低学年から高学年まで楽しめる活動を取り入れた。こどもにも取り組みやすい防災グッズ「お菓子かばん」づくりを行った。 ・大人はこどもたちを見守りつつ、できるだけこどもたちで解決できるようアドバイスした。 ・災害時に困らないため地域の人と顔見知りになっておくことや、とにかく逃げて助かることが大事だと伝えることができ、また、公民館や消防署の協力で大掛かりな煙体験や消火器体験を実現できた。

ほっとけん！アワード エントリーシート

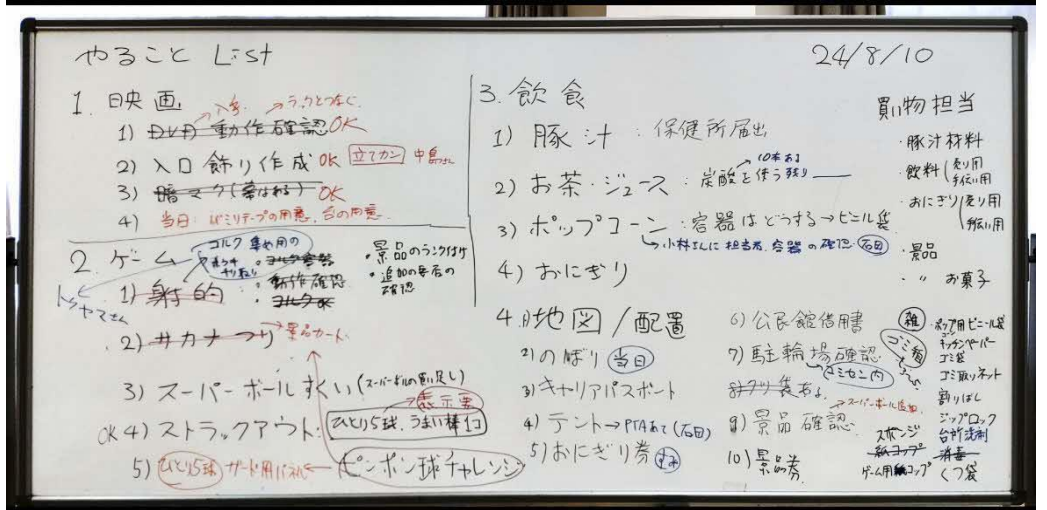
団体名：西河原小学校区青少年健全育成運動協議会	
行事の概要	
行事名：青少年まつり	参加人数 120人
日 時：令和6年8月24日（土）11：00～15：00	継続期間（第36回）
目 的： 「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」という青少年健全育成運動重点目標に向かって、 ・中学生が地域で活躍できる場を作る、・中学生のアイデアを取り入れる、 ・具体的な成果を出して行く ことを目的とした。	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	「自主的に活動を進めて欲しい」という期待のもとに、本年度の青少年まつりの企画の段階から、中学生に参加してもらった。企画段階の会議を2回実施している。また、メールを使ったアンケート調査も行った。 会議では、青少年まつり当日のイベントについて、新しいアイデアが3件出てきた。
青少年の希望を取り入れたか	青少年まつりのイベントについて、 1) スーパーボールすくい、 「スーパーボール以外に、水に浮くおもちゃを入れたい」という意見が出て、採用した。 2) 新しいゲームとして、a.ピンポン玉チャレンジ、b.マジックテープのストラックアウト、c.ゴブレット・ロブ が上がった。このうちa、bを採用した。 3) メインイベントの映画の剪定では、メールでアンケートを実施し、意見を出してもらった。
青少年の役割	次のような役割を担ってくれた。 1) 自分たちで企画段階から青少年まつりに参加し、自分のアイデアを出してみること 2) 地域に「青少年まつり」をアピールするポスターを作る 3) 当日の店番を行い、実際に運営する
青少年への指導と助言	・青少年会として集まりやすくするために、小学校の卒業式で青少年会の紹介を行った。 ・企画段階では、発言を促すための雰囲気づくり、ファシリテーションに重点を置いた。 ポスター作成では、関連の資料（ポス・ベイビーの案内資料等）の準備、ポスター用紙やペンの用意といった下準備以外は、青少年の子たちに任せることにしている。 ・当日の店番では、安全面の注意は、大人がやるが、他は、こども達に任せている。

アピールポイント ・こども達が積極的に意見を出してくれている。また、運営面でも自主的に店番を買って出ている。 ・例年、豚汁の配膳、売店、ゲーム、映画上映を行ってきた。豚汁の調理と無料提供では、民生委員を始め地域の皆さんに協力をいただくことができた。
苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等 ・新型コロナの影響で、第32回、第33回、第34回を中止。第35回は、映画上映なしで実施となった。この足掛け5年の間に、青少年に声をかけるルートが細くなっていた。初めての試みとして、小学校の卒業前に、青少年会の紹介をする場を、小学校行事に合わせて設定した。結果として、青少年会として集まることができ、企画段階から活発に意見をだしてもらうことができた。 ・参加してくれた青少年には、キャリアパスポート用に参加証明書をイベント単位で発行している。



①写真タイトル：第1回 青少年会の検討事項



②写真タイトル： 第2回 青少年会の検討事項



③写真タイトル：青少年も交えての準備



④写真タイトル：青少年まつり 当日 豚汁準備



⑤写真タイトル：青少年まつり 当日の様子



⑥写真タイトル：青少年まつり おにぎり販売



⑦写真タイトル：背少年まつり 射的の準備



⑧写真タイトル：青少年まつり スーパーボールすくい

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：南中学校区青少年健全育成運動協議会

行事の概要

行事名：第19回 南中校区フェスタ2023

参加人数 約2,000人

日 時：令和5年10月21日（土）9：45～14：30

継続期間（19回）

目 的：

- ① 南中学校区の家庭・学校・地域が一つとなってつながりを深め、協働の関係を構築する。
- ② 青少年の健全育成を図るとともに、校区の人権文化を構築する。
- ③ 人々が集い、語り合い、共に活動できる場や機会を提供し、教育コミュニティづくりを進める。

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	地域模擬店の担当者から配置されたボランティア生徒と何の役割を担当してもらうか等、常に相談しながら運営している。
青少年の希望を取り入れたか	特に、南中学校から出店する場合は、生徒たちからアイデアを募り、どんな出し物をするか、企画段階から携わり希望に応じた模擬店等の運営をしてもらっている。
青少年の役割	ボランティアを募り、ステージ司会等の担当や、模擬店へのお手伝いをする。
青少年への指導と助言	こどもたちに事前にフェスタの意義を伝え、役割に応じた運営の指導を行い、ステージ、模擬店、ゲームコーナー等の地域担当者と事前に打ち合わせをしてもらうことで、地域に貢献しているということを実感できるように指導を行っている。

アピールポイント

2023年度の出し物で木製の電気自動車を出店した。
技術科担当教諭が「エネルギー」の授業で、電気自動車について説明した時に、自身が大学で携わったことがある経験を生徒に話した。木製の電気自動車を作った話に、生徒たちが「見てみたい。」「乗ってみたい。」という意見が出てきて、その要望に応じて出店が決まった。

苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等

生徒たちと地域の担当者の事前の打ち合わせや、生徒説明会等の日程が平日の放課後に行われるため、日程の調整や参加者数の確保が難しい。



①写真タイトル：式典会場 南中学校吹奏楽部による演奏



②写真タイトル：式典会場 北摂つばさ高校ダンス部の発表



③写真タイトル：地域団体 模擬店 焼きそば屋さん



④写真タイトル：南中学校野球部 ストラックアウト



⑤写真タイトル：校区内小学校 ゲームコーナー



⑥写真タイトル：大阪産業大学協力 木製電気自動車



⑦写真タイトル：野外ステージ 地域団体による発表



⑧写真タイトル：地域団体 模擬店 あて物屋さん



第19回

南中校区フェスタ

～みんなでつくろう、こころのネットワーク～

2023年10月21日(土) 茨木市立南中学校
青健大会 9:45～10:30 フェスタ10:30～14:30

第 42 回 南中学校区青少年健全育成大会

The 19th

南中校区フェスタ2023 ～みんなでつくるう、こころのネットワーク～

♪ 青少年健全育成大会 [体育館]

〈式典〉

受付 午前 9:15
開始 午前 9:45

〈次第〉

1. 開会の辞
2. 市民憲章唱和
3. 会長挨拶
4. 来賓紹介
5. 大会宣言
6. 南中学校 吹奏楽部
7. 北摂つばさ高校ダンス部 発表
8. 閉会の辞

♪ ステージ発表 [グラウンド]

開始 午前 10:30 頃

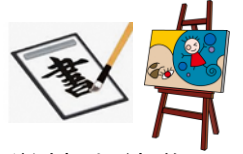
地域で活躍されている
方々や団体・中高生等
によるステージ



♪ 展示 [玄関]

開始 午前 10:30 頃

北摂つばさ高校・南中学校生徒作品



♪ 模擬店 [グラウンド]

開始 午前 10:30 頃

楽しいものがいっぱい！
地域の方々や団体、中高生が運営



♪ ゲームコーナー [グラウンド・人工台]

開始 午前 10:30 頃

いろいろなゲームがあります
楽しんでね！



日時:2023 年 10 月 21 日(土)

9 時 45 分～14 時 30 分

**場所:茨木市立南中学校
(体育館・グラウンド)**

- *雨天時は内容を変更、または一部中止する場合があります。荒天時は中止の場合もあります。
- *体調不良や発熱がある場合は、来場を控えていただきますようお願いします。

終了予定 午後 2:30 頃

お知らせ！！

『大阪産業大学 未来創造研究室』で
制作した、木製電気自動車の“試乗会”
があります。(雨天は展示のみ)

当日の 10:30 から、大阪産業大学のブースで、
整理券を 100 枚配ります。一枚につき、3 人ま
で試乗できます。ご興味がある方はぜひ、ご参
加ください。(運転はスタッフが行います。)

※対象は、中学生以下です。

※就学前のお子様は、大人の方と同乗が必要です。

主催：南中校区フェスタ 2023 実行委員会
後援：茨木市教育委員会

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：西陵中学校区青少年指導員会	
行事の概要 行事名：放課後カフェ（レインボーカフェ） 参加人数 91人～291人	
日 時：令和5年…4月26日(水)、5月19日(金)、6月23日(金)、7月12日(水) 9月6日(水)、10月6日(金)、11月22日(水)、12月20日(水) 令和6年…1月31日(水)、2月22日(木)、3月14日(木) ※1回あたり1～2時間で実施	
目 的：放課後の帰宅前や部活が始まるまでのひと時、生徒同士や先生達、地域の大人達と交流するカフェを開く。縦や横のつながりではない、斜めの関係性を築き、地域で生徒達を見守っていることを知ってもらう機会を増やし、安心して学校生活が送れるようにサポートする。	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	学校に登校しづらい生徒さんに対して、茨木ロビーの存在を伝えて、カフェの場でロビーの方に来てもらい、繋げることもできた。
青少年の希望を取り入れたか	教室に入りづらい生徒が通うステップルームへ、時間を早めて出張カフェの形で行くことにした。
青少年の役割	早めに来た時などに、椅子を並べたり、飲み物を配ったりを手伝ってもらう。片付けも一緒にしてもらう。放課後、いつもと違う友達や先生、地域の人とゲームや会話をしながら、人間関係を広げていく。
青少年への指導と助言	一緒にボードゲームやトランプをする中で、会話を通じてアドバイスできる事は伝えながら、周りにいる大人たちはいつでも見守っているし、何でも相談していいんだと伝えている。

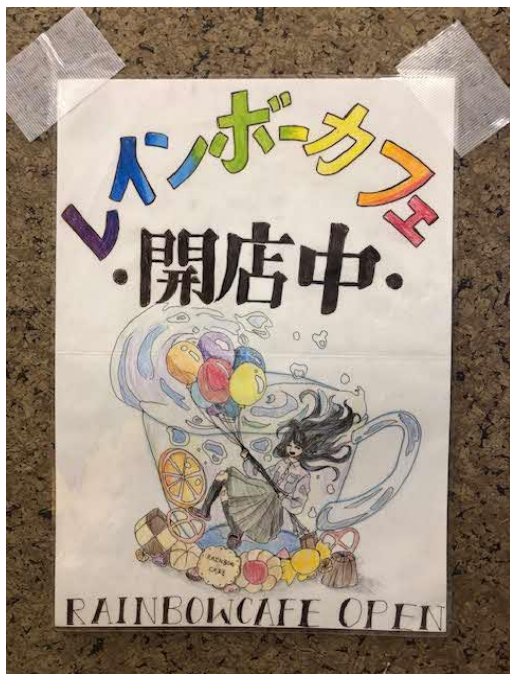
アピールポイント 継続してほぼ毎月実施することで、生徒達の認知度が上がってきており、レインボーカフェを楽しみにしてくれる声も多く聞こえてくるようになった。先生方にも、普段の姿とは違った生徒たちの顔が見られると好評。できる限り続けて行きたい事業。 また、他の中学校の方々も見学に来られ、同様のカフェを行う学校も出てきたようである。
苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等 青少年指導員会のメンバーだけでは、平日昼間の時間帯に参加できる人数が揃わない事が悩みで、有志の方やPTAの方にも来てもらえるようなシステムを作っていきたい。また、費用面でも十分ではないので、地域のお他団体にも協力をお願いしていきたい。



①写真タイトル：月一回の学校カフェ



②写真タイトル：先生とも一緒にゲーム



③写真タイトル：美術部の生徒がポスター作ってくれました



④写真タイトル：あちこちでゲームで盛り上がっています

ほっとけん！アワード エントリーシート

団体名：天王小学校区こども会育成連絡協議会	
行事の概要	
行事名：天子連カーニバル	参加人数 141人
日 時：令和5年10月29日（日）9：00～12：00	継続期間（第41回）
目 的：地震や水害などの災害が起きた時に大切な地域の人たちとの関係づくり。天子連カーニバルが、こどもたちが遊びやものづくりの活動体験を通して防災について考えるきっかけになり、一緒に活動した保護者、地域の方たち、近隣大学の学生ボランティアといった地域で生活する人たちと顔見知りの関係（大人が気がついて声をかけあう関係）になることを目的とした。	

	重点目標の「大人が気づいて声をかけあう関係づくり」を意識した取組
青少年との相談	カーニバルの内容を決める時に、低学年から高学年のこどもにみんなが楽しめる活動はどんなものが良いかを聞き取りを行った。体を動かす遊びと工作を準備して、見学だけの参加もできるほうが良いとの意見が出た。防災の要素も入れたいと伝えると、わかりやすく怖くないものが良いのでは？という意見あり。お土産があるとうれしいという要望もあり。
青少年の希望を取り入れたか	防災について、わかりやすく体験型を検討した。みんなが楽しめる活動についても、体を動かすゲームや、低学年から高学年まで取り組める工作を検討することにした。お土産についても検討し、記憶に残るお土産になるようにしようということになった。
青少年の役割	・地区文化祭に向けた作品（クリスマスリース指編み）作成に取り組む。 ・煙体験、消化器体験に参加する（希望者全員）。 ・消防体験、防災お菓子バッグ作成、クリスマスリース工作のときには参加しているこどもたち、幼児に声を掛け合いながら、グループごとに協力し、必要なときは大人に相談しながら活動を安全に楽しむ。
青少年への指導と助言	・時間割やグループ分けは大人が設定し、各活動での説明、誘導、相談の対応も各活動を担当する大人が対応した。 ・こどもたちの間で困ったことがあれば、見守り、できるだけこどもたちで解決できるようにアドバイスを適宜伝えた。

アピールポイント ・防災お菓子バッグ作成後には、こどもと保護者、地域の方に、茨木市の人口と備蓄についてこども会役員がわかりやすく説明し、災害が起きた時に困らないためには日頃からこうやって地域の人たちと顔見知りになっておくこと、食べ物飲み物などをローリングストックすること、とにかく安全に逃げて助かることなどを伝えられた。 ・公民館や消防署など多くの地域の方の協力があり、煙体験や消火器体験などの大がかりな体験も実現できた。 ・毎回、こども会の活動は強制ではなく、取り組みたいものに自分のペースで取り組めばよい、という雰囲気があり、回を重ねる毎に参加しているこどもも大人も他者を大切に認め合い助け合いながら活動できている。 ・防災の内容を織り込んだこども向けの活動を取り入れるきっかけになった。 ・こどもたちがカーニバルで体験したことを家庭や他の友達に伝えることで、防災への興味が広まった。
苦労した点、地域等に対する調整や働きかけ、工夫点等 ・幼児から高学年のこどもたちが一緒に楽しめる活動を考えることは難しいが、こどもたちの率直な意見を聞いたり、毎年の反省点をフィードバックしながら考えることは楽しい。 ・大阪北部地震や激しい台風を体験したことで災害についての意識も強い。怖がらずに前向きに防災の意識を持ってもらうために「お菓子かばん」というこどもが取り組みやすい防災グッズを作成することは、今回工夫したことである。 ・青健協の協力を得て、消防の方や地域の住民の方に参加協力をお願いすることができた。



①写真タイトル：工作ゆび編みリースづくり



②写真タイトル：工作ゆび編みリースづくり



③写真タイトル：消火器体験



④写真タイトル：煙体験



⑤写真タイトル：防災お菓子カバン作り



⑥写真タイトル：防災についての話を聞く



⑦写真タイトル：みんなで遊ぼう（ボランティアや保護者と）



⑧写真タイトル：公民館文化展展示